

市民・事業者・行政が協働して環境保全都市を実現するひらかた環境ネットワーク会議会報誌

NO. 60

冬号

平成 31 年
(2019)

環境ひらかた



明けまして おめでとうございます

平成という時代が終わります。テレビ番組ではありませんが「平成を振り返ってみる」と、消費税の導入で幕を開け、ベルリンの壁が崩壊し冷戦時代に終止符が打たれ、そして、間もなくバブルがはじけ、政権交代が起き、阪神大震災が起こり・・・と、大きな出来事を上げていくと枚挙にいとまがありません。中でも東日本大震災での原発事故は再生可能エネルギーへと社会が動き出す大きなきっかけとなりました。さて、今年はどんな年になるでしょう。本年もよろしくお願いいたします。

エコフォーラム2019のご案内

今年最初のイベントのご案内です。

今年も「エコフォーラム」を開催します。開催日は2月2日(土)です。今回は参加者のみなさんと一緒に、おにぎりなどをつまみながら、「枚方の環境についてワイワイとおしゃべりしよう！」という企画になっています。ぜひご参加ください。(詳細は中面に記載)

*****目次*****

新年のごあいさつ	P 1
エコフォーラム2019	P 2・3
各部会報告	P 4・5
お知らせコーナー	P 6
環境トピックス Vol. 26	P 7
ちょっとお得なエコライフ情報	P 8

**参加して、環境のことを知って
みんなで考えてみませんか？**

[illegible]

※写真は、すべて昨年のエコフォーラムの様子です

[illegible][illegible][illegible]

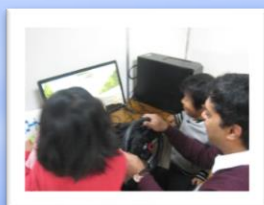
2月2日(土)

時間 10:00～13:30

場所 メセナひらかた会館



2階ロビー周辺
ブース展示・エコ体験 etc.



サプリ村野内 環境情報コーナーに展示中



←天の川の魚

昆虫標本→



「環境ティールーム」で気軽に語り学ぶ♪

講師を囲んでお茶を飲みながらワイワイ
「環境ティールーム」で気軽に話そう♪



今年度からスタートした「環境ティールーム」。原則毎月第2木曜日 10時30分から、サプリ村野南館 2階環境情報コーナーで開催しています。(申込制)

親しい友人同士ではなかなか話題にし辛い「環境問題」を、お友達と気軽にお茶をするような感覚で、お菓子をつまみお茶を飲みながらおしゃべりする場です。

毎日の暮らしで感じること、TVのニュースで話題となっていることなどで「よくわからない」「もっといろいろ知りたい」と思ったら足を運んでみませんか?身近な環境にまつわるホットなテーマをみんなで話しあって一つ決め、テーマについて、みなでおしゃべりしながら考えます。次回は 2/14「身体の体幹を鍛えることはエコにもつながる」です。お楽しみに～♪

今まで取り上げたテーマ

- 6/14 今大問題!「マイクロプラスチック」って知ってる?
- 7/12 食品ロスを考える
- 9/13 巨大化する自然災害
- 10/11 リサイクルプラザ「かざぐる」見学
～プラスチックの行方～
- 11/8 暮らしの中の洗剤
- 12/13 再生可能エネルギー社会は来るのか

当団体 HP では今まで行った活動報告も UP していますので詳細知りたい方はぜひこちら
→<http://www.hirakata-kankyou.net>



部会活動紹介

ひらかた環境ネット会議では、それぞれテーマごとに部会を結成し、主体的に活動を行っています。

環境教育部会



メニューも充実 さらなる進化を目指して

みなさんは当部会が行っている出前授業のメニューにどんなものがあるかご存知でしょうか？小学4年生に配布されている環境副読本にも記載されているのですが実は12個のメニューがあるのです。しかし実際に、私たちが各小学校から依頼を受けて行っているのは、主として「環境問題とエネルギーについて学ぼう」「暮らしの中の電気」「酸性雨の実験」など、理科の実験的な要素を取り入れて、環境問題を考えるきっかけ作りにする様な内容のものが多くというのがこれまでの状況でした。ところがここ2、3年前は「使い捨てについて考えよう（ペットボトル版）」「使い捨てについて考えよう（レジ袋版）」「4Rについて考えよう」「穂谷の自然について（クラフト製作）」「ゴミ分別ゲーム」など、「環境啓発」そのものズバリ、と言っても良い様な内容のメニューが増えて来ているのです。

これは、当部会が目標の一つに掲げていた「新規メニューの開発」の成果であり、多方面からメニューの協力をいただいた事によるものでもあります。メニュー自体が多くなれば、依頼していただく際の選択肢の幅が増える事にもなり、それが又、依頼件数の増加につながりと、好循環になるのではないかと期待しています。当部会では、これからも既存メニューの見直しを図ると共に、よりわかりやすい、啓発効果のあるメニューの構築に努め、さらなる進化を目指していこうと思っています。

自然エネルギー部会

自然エネルギー部会の歩み ―最終章―

自然エネルギー部会15年の歩みもいよいよ最終章です。前号では歴史の中で大きな事業・大きな転機となった「市民共同発電所」について書きました。今回は当部会の大きな柱ともいえる「自然エネルギー学校」についてです。

第1回の「自然エネルギー学校」は2005年に開講しました。そこではまず「自然エネルギーが何であるか」から始めようと、環境の専門家を講師に招き「座学」の形態で年8回程度実施しました。当時はまだまだ「自然エネルギーって何なの？」という時代でしたので、受講生を集めることは苦労でした。その後、数年間は「市民共同発電所」の設置に向けた取り組みに労力を注いでいたため、「自然エネルギー学校」は開けずにいました。再開したのは2010年で、再開後は、当初の「座学」から、見て知る「体験型」の形態に変えて実施し、併せてその一環として、夏休みの子供向け体験講座「親子でソーラーミニカー作り」を実施しました。家族と一緒に工作し、太陽のもと、おもちゃのソーラーカーを走らせ、太陽光のパワーを実感し、太陽光発電を体感してもらう機会としました。おかげさまで、この講座は毎回定員を大きく上回るほどの好評を博すまでになりました。

これからも、「自然エネルギー学校」を通じ、多くの人と共に自然エネルギーを学び、知らせ、取り入れる活動を続けていきたいと思っています。

まちづくり部会

旧街道を歩き 古の枚方に思いを馳せる



もうすっかりお馴染みになりました。「街並み保存の推進」の一環として行っているウォーキング。枚方の歴史的文化遺産や変わりゆく街並みを知ってもらうために定期的に実施しています。今回は昨年11月17日に実施しました。さわやかな秋晴れの中、「招提から出屋敷 東高野街道を歩こう」と題し、スタッフを含む26名の参加者が、招提の敬応寺（かつての招提寺内村）から正念寺、日置天神社、穂谷川清掃工場を経て出屋敷の街並み、そして山田池公園に至る約5kmをボランティアガイドの案内で歩きました。

正念寺では、サプライズで先代住職のおもてなしを受け、貴重なお話を聞くことができました。日置天神社の境内には祭りの山車（だんじり）8基を納めている格納庫があり、山車それぞれの格納庫がずらりと並んでいる様子は壮観でした。（現在祭りで曳行されるのは人手不足のため1基だけ）また、出屋敷高野街道とも呼ばれる出屋敷の街並みは江戸時代の雰囲気をそのまま残しており、まるでいにしへの時代にタイムスリップしたかのようなようでした。



参加者の皆さんからは「近くに住んでいるが、知らないことばかりで勉強になった」「ガイドさんの案内が楽しかった」等の声をいただき、好評の内に終えることができました。

これからもウォーキングを通して市民の皆さんに枚方の街の良いところ、改善すべきところを知ってもらい、よりよいまちづくりに活かしてもらえよう活動していきたいと思ひます。

公共交通部会

高い評価の「交通タウンマップ」

当部会が枚方市からの委託により作成している「ひらかた交通タウンマップ」をご存知でしょうか？市内の公共交通機関を知ってもらうために、市内のバス路線を中心に掲載されたマップで、主に枚方市への転入者にお渡ししています。

この「交通タウンマップ」。実は非常によく出来ており、近畿運輸局はN市に対し「枚方市を見習え」とまで言うほどの高い評価をしているのです。そんな高い評価の「ひらかた交通タウンマップ」ですが「それってどんな？」と思った方は市役所本館・別館1階受付や市役所第2分館、そして当法人事務所でもらえますので、是非一度手に取ってみられてはいかがでしょうか？





お知らせコーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせはひらかた環境ネット会議事務局までご連絡ください。 ☎072-847-2286

◆◆◆エコキャップの回収報告◆◆◆

●エコキャップ H30年 7月20日搬入分 280 kg (120,400 個)
 H30年 12月17日搬入分 290 kg (124,700 個)
 取組開始からの累計 3,105,022 個
 CO2 累計 1,912,279.5 kg

ご協力いただきました大勢の皆様、ありがとうございました。



※エコキャップは、「株式会社カンポ」を通じて、病気の子どもたちとその家族のための滞在施設の建設や、福祉・医療分野におけるボランティアへの助成・育成活動などを行っている「公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン」に寄付しています。

◆◆◆S-EMS 支援事業が間もなく終わります◆◆◆

S-EMS という言葉、周知されていると思いますが「枚方市学校版環境マネジメントシステム」のことで、2008年に枚方市が、環境負荷の低減を図るとともに、環境教育を充実させるために導入しました。これを支援するために当法人が市から委託を受け、S-EMS 支援チームがこの任にあたってきました。その委託期間が 2021 年 3 月末で終了します。

この間様々な支援を行ってきました。支援内容として最も求められることは、“環境負荷の低減”のために効果的な取り組みについての最新情報や事例、そして環境教育における最新の情報と、環境教育を取り巻く状況についての情報でした。これらの情報を提供するために、担当者自身も常に研鑽を積んできました。更に、教職員向けの研修教材の製作にも力を入れると共に、教材の更新も行ってきました。その甲斐もあり、研修に参加された教職員の割合は約 70% にもなりました。

委託期間終了まで残り 2 年余りとなった今年度、環境教育の参考にしていただきたく、今までの研修会で使用した資料を CD にまとめ学校園に配布しました。活用されることを願うと共に、引き続き、S-EMS の取り組みが継続されることを願っています。そしてその支援を私たちができればと思っています。



私達を取り巻く環境は日々変化しています。最近の環境問題や、環境に関する事柄について「知ってほしい・知らせたい」情報などをこのコーナーで伝えていきます。今回は、いずれも過去に取り上げたことのあるテーマ「気候変動の影響はこんなところにも」「生分解性プラスチックの普及に光明」です。

◆ 気候変動の影響はこんなところにも

昨年、日本に大きな被害をもたらした自然災害は、まだ記憶に新しいところである。昨年に限らず、近年風水害による被害が多発しており、それに伴い、損害保険金の支払いも増えているとのこと。こうした気象災害は地球温暖化による気候変動が影響しているといわれているが、このまま地球温暖化が進むとさらに大きな気象被害が生じるであろうと予想される。保険会社は、その被害が甚大且つ頻繁に発生する事態になると、保険そのものの引き受けができなくなるかもしれないと言っている。こうした状況にあって、海外の保険会社は「保険の健全な運営と経営のため、気候変動を防止する責任がある」との考えから、CO₂を多く排出する会社への新規投資を止めたり、所有する株などを売却するなどして資金面から化石燃料の使用抑制に取り組んでいる。こうした世界的な潮流があるなか、日本では、様々な事情から、海外で見られるような取り組みに踏み切れておらず、逆に増えている実態もある。いずれにしても、保険金の支払いのため保険料率が上がり、私達の支払う保険料が高くなる自体は勘弁願いたい。勿論これ以上の気象災害もだ。

◆ 生分解性プラスチックの普及に光明

プラスチックごみが昨今急に大きな問題としてクローズアップされている。何百年も分解されず半永久的に存在し続けるプラスチックは地球環境にとって大きな問題である。そんなプラスチックだが、堆肥に入れると微生物によって水と二酸化炭素に分解される“生分解性プラスチック”が一方にあるのをご存知の方も多いことだろう。ところがこの生分解性プラスチック、以前からあったがなかなか普及しておらず、生分解性プラスチックの一種であるポリ乳酸の流通量は、国内のプラスチック全体のわずか0.1%以下というから驚きである。その理由の一つが一般的なプラスチック（汎用樹脂）と比べ約10倍と高価であるということ。そしてもう一つが、成型が非常に難しいと言ことがあげられる。

しかしこのほど、この課題のある「ポリ乳酸」の加工法を編み出したとの記事が新聞に記載されていた。「ポリ乳酸」には、先の2つの問題点に加え、熱に弱い、耐熱性に課題があるものの、加工技術の確立により“環境に優しいプラスチック”の可能性に広がり、普及に光明が差したのではないだろうか。

ちなみに、飲料メーカーでつくる全国清涼飲料連合会が、昨年11月2月9日に、家庭などから出るペットボトルを2030年度までに100%回収・リサイクルする計画を発表した。マイクロプラスチックの問題が世界的に問題視されている中、前述のニュースと併せ、明るいニュースと受け止めたい。

ちょっと



お得な エコライフ情報!!



eco eco eco eco eco eco eco

新しい年がスタートしました。皆さんの中には、「今年こそは・・・!」と、決意を新たにされる方もおられるのではないのでしょうか。そんな決意の一つにぜひ「体質改善」を加えてみませんか? 「そんなものしなくても」という方は当団体が取組んだ「エコ宣言」をぜひ実践してください。

体質改善で エコライフ?!

体質とエコライフ、何か関係があるの?と疑問に思われるかもしれませんね。例えば代謝機能を高めることで、今の季節、暖房をあまり使用せずに済むかもしれません。また、体形が変わらないでいると、洋服のサイズが変わらないので、何年も洋服を買わずに済むかもしれません。

何より、医療費がかからずに済むかもです。ほら環境にも家計にもエコでしょ。



食品ロスに役

—お正月料理を残さず食べきる!—



お正月はあれもこれもと、いろいろとごちそうを準備されるご家庭も多いことと思います。でも残ってしまった…!というご家庭もまた多いのでは。そこで「リメイク料理」で、食べきる工夫をしてみませんか?

今問題になっている食品ロスの一助にもなります。例えば、黒豆の残り、黒豆と煮汁でゼリーに、パイシートを活用し、お餅と煮豆を入れてスイートパイに。お煮しめ類は粗みじんにしてコロケの具材にすると、目先も変わり美味しくいただけます。是非お試しください。

*詳しいレシピは当法人 HP をご覧ください



ひとこと



毎年その年の漢字が選ばれますが、2018 年は「災」でした。言うまでもなく作年は実に様々な自然災害に見舞われました。その災害時にもっとも気になるのが、家族特に子供とはぐれた場合の事です。日ごろから何かあれば「〇〇集合」と家族で約束することが大事だと痛感しています。そして、何かあればお互い助け合えるような、コミュニティ作りも重要です。

それ以前の事として、今年は災害のない、いい年であってほしいと願っています。

N

ひらかた環境ネットワーク会議 会報「環境ひらかた」第59号

平成 31 年 1 月 1 日発行 (年 4 回発行)

発行: (特活) ひらかた環境ネットワーク会議



〒573-0042 大阪府枚方市村野西町 5 番 1 号

サブリ村野内 (旧村野小学校)

電話 072-847-2286

FAX 072-807-7873

E メール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyou.net>

発行責任者: 伊丹 均 編集責任者: 丸井 晶子